

令和元年度公益社団法人岐阜県栄養士会事業報告

公益1 公衆衛生・健康づくり・食育推進事業

事業概要

栄養指導や食事指導に関し、県民参加の多種多様な活動をとおして、日常の食生活の質の向上に役立つ知識や実用技術の普及と、食事を含む生活習慣の見直しと改善を図ることにより、健康の保持増進と望ましい食生活の確立を支援する。また、栄養と食生活の改善を支援する保健、医療、福祉及び教育等の分野の各職種の連携・協働関係を築き、在宅療養者などの適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むこととおして、食環境の整備を推進するものである。

I. 県民の健康の増進及び疾病の予防に資する事業【定款第4条第1項第1号】

1. 健康の保持増進及び疾病予防事業

事業内容

乳幼児期、少年期、青年期、壮年期、成年期、高齢期の各世代の課題に合った食育活動を行い、栄養・食生活の改善を推進する。また、保健・医療・福祉及び食育などにおいて、異なった専門性を持つ職種間での情報共有、連携・協働関係を構築し、より質の高い活動を目指す。不特定多数の県民には、健康まつり等の機会を利用し健康情報を提供することにより、食環境の改善に努める。災害時には関係機関と協力し状況に応じた栄養・食生活支援活動を行う。

1-a 各世代の食育活動

・食育講座「親子で楽しくベジおやつ」（地域活動事業部）

幼児食農教育をさらに啓発するために、県内の保育園・幼稚園を対象にした食育講座を3園で開催した。保護者には幼児期に必要な栄養と補食の摂り方について学ぶ場とし、親子で150名が参加した。

・高校生への生活習慣病予防事業（下呂支部）

下呂市内の高校の生徒や保護者を対象に高校の文化祭にて市内における食生活の実態を知らせながら、食事・栄養管理に関心を持たせ、将来に向けた食の自立及び生活習慣病予防のきっかけ作りを行った。食生活教室では、バランスの良い食事や適正な塩分、野菜摂取量について啓発活動を行った。

・介護予防、在宅療養者支援事業（栄養ケア・ステーション事業部）

地域高齢者のフレイル予防事業（県委託事業）は、高齢者の低栄養による要医療、要介護への移行を防止するため、アクティブシニア層を対象に低栄養予防の栄養ミニ講座を31回開催し、696名が参加した。各種団体との連携を図り、連絡会議で食形態や食事内容の検討をし、自宅で生活する高齢者向けの簡単な調理レシピの冊子を作成した。

“食”を通じたフレイル予防・啓発事業（岐阜市委託事業）は、第3次岐阜市食育推進計画の「望ましい栄養や食事の摂り方を理解し自己管理ができる」という目標達成のため高齢者に低栄養予防啓発活動を実施した。低栄養予防のレシピ紹介や開発レシピを調理し高齢者が集う場所ショッピングセンター等での試食提供・栄養相談を市内6カ所で行った。

高齢者団体向け栄養改善教室（各務原市）は、要介護状態の悪化予防のために市内41カ所で栄養改善教室を開催した。

1-b 健康栄養に関するセミナー及び講演

・食育、健康づくりに資する講演（企画総務部）

第7回定時総会（通算35回）を令和元年6月2日ワークプラザ岐阜にて開催し、岐阜大学医学部アレルギーセンター副センター長小児科講師川本典生氏による「最新の食物アレルギー治療について」の記念講演を行い、81名が参加した。食物アレルギーは、食生活や食環境の変化などさまざまな要因によって起こり、年齢を問わず治療は複雑である。そこで、最新のアレルギーの情報を習得し、県民への栄養改善・健康づくりの推進につなげた。

1-c 県民への食事・栄養に関するイベント等

・幼児食農、食育事業（栄養ケア・ステーション事業部）

岐阜市農業委員会主催により食農体験をとおして、生産者や自然の恵みの大切さを理解するため、親子で収穫した野菜を利用し調理実習を2回開催し、98名が参加した。

本県市農業委員会と連携し「食農教育」を市内幼稚園の年長児を対象に体験をとおして生きる力を育むため、園児が栽培した野菜を用いた調理と試食を市内8園で開催し、258名が参加した。他の県内幼稚園では、食と健康を体験しながら

ら学ぶ「キッズキッチン」を3園で、10回開催し、230名が参加した。

・岐阜市民健康まつり（岐阜市支部）

岐阜市文化センターにて「岐阜市民健康まつり」が開催され、健康相談や栄養相談、栄養ゲームを行い、市民の健康や栄養に対する意識、さらにQOL（生活の質）の向上を図った。

・歯の健康フェスティバル（西濃支部）

大垣歯科医師会主催の「歯の健康フェスティバル」に食育ブースを設け、栄養・食事のアドバイスや食育リーフレット・レンピのチラシを中学・高校生3名を含む100名に配布し、市民の健康維持増進に寄与した。

・飛騨市福祉ボランティアフェスティバル、高山市民健康まつり（飛騨支部）

飛騨市福祉ボランティアフェスティバルにて飛騨市民80名、高山市民健康まつりにて高山市民150名、それぞれの生活習慣病予防のための食と栄養に関する啓発活動を行った。また、指導媒体を用いて個別に指導することにより、健康増進の意識向上につなげる支援活動を行った。

1-d 他団体との連携活動及び組織強化

・関係団体の行う各種健康づくりに関係する委員会、協議会への参加
（企画総務部、栄養ケア・ステーション事業部、岐阜市支部、下呂支部）

関係機関、関係団体における地域および健康づくりに関する委員会や会議に参画し、健康づくりや疾病重症化予防介護予防に関する事業の推進を通じて連携強化を図る。

- (1)岐阜県食育推進会議 (2)食品安全対策協議会 (3)岐阜県糖尿病対策推進協議会 (4)菓食同源情報検討委員会
(5)慢性腎臓病(CKD)対策協議会 (6)岐阜県保険者協議会 (7)岐阜県公衆衛生協議会
(8)岐阜県保健事業支援・評価委員会 (9)岐阜県8020推進会議 (10)岐阜県口腔保健協会
(11)歯と健康の県民フォーラム実行委員会 (12)青少年育成県民会議 (13)(一社)岐阜県調理師連合会
(14)岐阜県小児保健協会 (15)えいようの会 (16)岐阜市公衆衛生協議会 (17)在宅医療連携推進会議

1-e 災害時栄養・食生活支援

・災害時における県民の適切な支援のための体制整備及び強化（企画総務部、組織部）

災害対策委員会において非常災害時の体制強化を目的とした緊急時の連絡体制、初動マニュアルの改訂を行った。また、本会主催のぎふD-DATスタッフ養成研修を実施し、スタッフ10名、スタッフサポーターを1名養成した。

・防災教室（栄養ケア・ステーション事業部、ぎふD-DATリーダー）

昨今、頻発する自然災害への対応として県民が開催する防災教室の講師をぎふD-DATリーダーが務め、災害時の食事やパッキングについて講義と実習を行った。岐阜市の自主防災クラブや大垣市の防災士研修では、それぞれ39名と40名が参加された。

II. 栄養改善における学術及び技術の振興に資する事業【定款第4条第1項第2号】

1. 栄養改善における学術及び技術の振興事業

事業内容

県民の健康と栄養の実態調査及び資料の収集並びに研究及び技術開発をととして食事・栄養の総合的かつ実践的な学術及び技術の向上を図り栄養学と栄養改善を行う。

1-a 各世代における食事実態調査及び研究

・大学生健康診断時における管理栄養士による栄養相談（栄養ケア・ステーション事業部）

岐阜大学の学部・大学院新2年生 1,351名を対象に定期健診時の10日間、事前食事摂取調査を基に食事相談を実施し、生活習慣病予防の食生活改善や自立した生活を送れるよう個別に支援した。また、展示ブースを設けて情報提供を行いながら、意識調査を実施し学生の食生活改善へと繋げた。

岐阜協立大学では健康診断時に希望者に栄養相談を行い、生活習慣病予防及び食事・栄養に関する食事相談を行った。

・大学食堂野菜たっぷりメニューコンテスト（研究教育事業部）

県の「野菜ファーストプロジェクト」の一環として、野菜摂取量の少ない大学生の野菜摂取量を増やすため、大学食堂のレシピに採用する野菜たっぷりメニューコンテストを開催し、レシピ集を作成し、食堂運営者に配布した。

Ⅲ. 各世代と障がい者の特性に応じた栄養改善に資する事業【定款第4条第1項第3号】

1. 各世代及び障がい者等に応じた栄養改善事業

事業内容

食事を含めた生活習慣の見直しや改善による日常の食生活の質の向上を目的に、管理栄養士・栄養士の実務的な専門性が直接反映される個別対応や、県民の健全な食生活を自律的に営む力をはぐくむために集団対応の食事・栄養管理支援を行う事業である。栄養ケア・センター、圏域栄養ケア・ステーションを中心に特定保健指導、県民・関係団体・企業等からの「栄養と食事」に関わる相談・指導・講演の依頼に応じ、食生活改善活動とおしての食事・栄養管理支援及び啓発活動を行う。また、食と栄養に関して理解を促し、実践できる人材の育成を支援する。災害発生時に円滑に活動できるよう平時の防災活動を支援する。

1-a 特定健診・特定保健指導に係る事業

・特定保健指導の実施（栄養ケア・ステーション事業部）

前年度の実施状況から担当者がマニュアルや運営について、主催者側と連携のうえ自らのスキル向上・知識習得に努め実施し、大野郡白川村では6日間で107名、岐阜市では5日間で644名への保健指導を行った。また、特定保健指導者の人材育成や確保に努め、会員へ情報提供をした。

1-b 各世代が抱える疾病、病態栄養を理解し予防、治療に向けた個別指導、集団対応型の食事・栄養管理活動

・低栄養・重症化予防訪問指導（栄養ケア・ステーション事業部）

後期高齢者の健康診断結果より保健師が抽出した訪問指導が必要と判断された対象者を個別訪問にて栄養の指導を実施した。

・健康診断後の食事指導（栄養ケア・ステーション事業部）

地方職員共済組合岐阜県支部組合員を対象に、保健師と連携し、健康診断における個別栄養指導を県下10地区、25日間、166名に行った。

・「歯と健康の県民フォーラム」における食事・栄養啓発活動（栄養ケア・ステーション事業部・医療事業部）

口腔の健康づくりにおける栄養と食事について「歯と健康の県民フォーラム」に参加し、栄養と食事の啓発推進のための栄養相談を100名に行った。

・世界糖尿病デー（栄養ケア・ステーション事業部・医療事業部）

世界糖尿病デーイベントにて栄養相談にて重症化予防支援活動を行った。

・各事業所、各団体等への栄養アドバイス・生活習慣病予防のための栄養アドバイス啓発活動（栄養ケア・ステーション事業部）

旅館・ホテルが提供する献立700キロカロリーの栄養計算を行った。世界糖尿病デーでは糖尿病の食事について献立の説明を行い、料理長を交えて県民への糖尿病予防の啓発活動を行った。

・健康づくりアドバイザー社会保険協会（栄養ケア・ステーション事業部）

社会保険協会会員に健康づくりアドバイザーとして生活習慣病について講演を行い、健康増進や疾病予防に努めた。岐阜圏域で6回、267名、西濃圏域で2回、108名、東濃圏域で1回、40名、飛騨圏域で5回、367名が参加した。

・生活習慣病予防のための調理実習（栄養ケア・ステーション事業部）

生活習慣病予防や地域における食生活改善のための調理実習を開催し、岐阜圏域で3回、39名、飛騨圏域で1回、9名が参加され、それぞれ生活習慣病予防や重症化予防に努めた。

1-c 栄養ケア・ステーション事業の充実及び強化

県民のQOLの向上と健康寿命の延伸を図るため、5圏域の栄養ケア・ステーション事業の充実と強化を図るものである。

・栄養ケア・ステーション登録者研修会（栄養ケアステーション事業部）

5圏域の栄養ケア・ステーション登録者による事業内容の検討会及び栄養ケア・ステーション会議を開催し、20名が参加した。

・栄養ケアセンター及び5圏域栄養ケア・ステーション検討会（栄養ケア・ステーション事業部）

栄養ケアセンターと県下5圏域栄養ケア・ステーションの組織強化のため年3回のコーディネート会議を開催し、栄養ケアステーション登録者の拡大・拡充に努めた。

1-d 食と栄養に関する人材育成

今後の目標とその達成に向けた取り組みを共有し、他団体からの依頼に応じ栄養・食事の研修を行い、食育向上に資する人材を育成する。

- ・食品表示法に基づく栄養成分表示方法講習会事業（公益事業部）

「食品表示法に基づく栄養成分表示の表示方法講習会」により栄養ケア・ステーション登録者へ食品表示に基づく栄養成分表示に関する研修会を開催した。食品関連事業者の方へ、講習会用の栄養成分表示作成ガイドブックにて、表示値の算出方法等の指導講習会を行った。5圏域、5会場で228名が参加した。

- ・高齢者活躍人材確保育成事業「調理サポート」（組織事業部）

高齢者活躍人材を育成するため、シルバー人材センター登録者に調理実習及び食育講座を2会場（大垣市、関市）で各3日間実施した。

- ・調理師試験に対する予備講習会協力事業（栄養ケア・ステーション事業部）

（一社）岐阜県調理師会が開催する調理師試験受験予備講習会の栄養学・食品学・調理理論を担当し、6会場で12日間講師を務め、333名参加された。講習会実施にあたっては、講師を務める前に調理師試験の概要、趣旨、注意事項等について共通理解を深め、講義の充実を図った。

- ・高齢者低栄養予防事業（可茂支部、栄養ケア・ステーション事業部）

高齢者のフレイル予防のために支部内の7会場で体力や筋力低下を予防し、低栄養に陥らない生き生き生活への意識を高め、138名が参加された。

- ・介護予防のための地域ケア個別会議（栄養ケア・ステーション事業部）

各市町村地域包括支援センターの依頼に応じ、要支援認定者等を対象としたケースの自立支援の重度化防止について検討するケア会議にアドバイザーとして参加し、また予防教室・調理教室の講師を務め、7回、151名が参加された。

1-e 防災に関する食事、栄養支援活動

県内外における災害を想定し、栄養・食生活支援活動内容及び体制を整備した。

- ・災害時における対策及び支援について災害対策委員会開催（企画総務部）

災害対策委員会を開催し、災害対策委員における災害対策、支援のための方針を決定し、体制強化に努めた。

IV. 健康並びに食育に関する調査及び啓発普及に資する事業【定款第4条第1項第4号】

1. 健康並びに食育に関する調査及び啓発普及に資する事業

事業内容

県民へ栄養調査を実施や健康づくり、栄養の摂り方についてイベント等で課題を焦点化し、具体的な対応を検討し、リーフレットの配布や情報の提供を行う。

- ・子ども食堂のための食育応援事業における食事、栄養意識調査（地域活動事業部）

子ども食堂の実態把握をするため訪問し、開設事業所・団体に協力を依頼し、本会会員による状況調査を行った。

- ・小児保健協会における研究発表（岐阜県こども健康を考えるつどい）

V. 管理栄養士・栄養士の職業紹介に関する事業【定款第4条第1項第7号】

事業内容

高度な専門性を持つ管理栄養士・栄養士が適切な環境で活躍できるよう支援し、求人企業との連絡調整を行う。

1-a 医院への管理栄養士紹介、クリニック・事業所への栄養ケア事業者登録の協力依頼

- ・医院への管理栄養士の紹介（栄養ケア・ステーション事業部）

栄養ケア・ステーション登録の管理栄養士をクリニックからの依頼に応じて紹介した。

1-b 管理栄養士紹介申込における講師紹介事業（栄養ケア・ステーション事業部）

本会ホームページや各事業所、各団体からの栄養士を紹介する事業を行った。また、管理栄養士・栄養士による食育の講演や料理教室、栄養相談、イベントスタッフ、献立作成、栄養計算、レシピ作成、リーフレット作成のための管理栄養

士や栄養士を紹介した。

VI. その他本会の公益目的を達成するために必要な事業【定款第4条第1項第8号】

事業内容

地域社会全体の食環境の改善と健康増進を図るため、栄養士会組織部と支部長が合同会議を開き、情報共有を行うことで支部活動を活性化する。また上記以外に食と栄養をとおして県民の健康増進に寄与する活動のための企画運営を行う。健康づくりに関する情報を載せたホームページを掲載し不特定多数の県民へ情報提供を行う。

1-a 健康づくり、公衆衛生の向上に寄与する事業

- ・第7回定時総会（通算35回）記念講演（企画総務部）

令和元年6月2日（日）岐阜県栄養士会定時総会にて岐阜大学医学部アレルギーセンター副センター長小児科講師 川本典生氏による「最新の食物アレルギー治療について」の記念講演を開催した。

1-b 各部会、事業部会、支部会にて

- ・県民に向けた事業推進のための部会検討会（各部会、事業部会、支部会）

組織部・支部合同会議における事業のための運営会議を開催した。事業部・支部の活動が円滑に執り行われるよう役員会を開催した。

1-c 情報提供に関する活動

- ・ホームページによる情報公開・リーフレット・パンフレット配布による情報提供

県民の健康増進に繋がる情報の発信源として、岐阜県栄養士会のホームページを運営し最新の情報発信に努めた。また、会員のスキルアップのための情報や研修会なども掲載した。会主催の研修会・イベントはメディアを通して発信した。

公益2 栄養・食生活に関する専門的教育、資質の向上事業

事業概要

管理栄養士・栄養士が栄養・食生活に関する専門的な知識を絶えず習得し、資質の向上を目指すことにより、県民への栄養・食生活支援を正しく効果的に行うことができ、ひいては公衆衛生の向上に寄与することとなる。なお、当該事業は会員に限らず管理栄養士・栄養士であればだれでも参加できる。

I. 栄養改善、健康づくりに関する刊行物の発行及び調査研究事業【定款第4条第1項第5号】

1. 栄養改善、健康づくりに関する事業

事業内容

食と栄養に関する知識、健康づくりに関する情報を載せたホームページや印刷物をとおして不特定多数の県民へのコミュニケーションを図り、それによって実践を促す。

1-a 情報誌等

- ・栄養士会だよりの発行（広報事業部）

岐阜県栄養士会の事業内容・各事業部、支部の活動状況を会員に伝え、会への理解を深めるため、会報「栄養士会だよりの」を年1回発行した。必要に応じて関係機関に配布し、事業の周知を行った。

- ・ホームページの運営（広報事業部）

ホームページより継続的に岐阜県栄養士会、日本栄養士の情報を配信し、県民の健康増進に寄与した。スキルアップのための生涯教育研修会や事業部主催の実務研修会の開催案内を掲載し、会員がホームページを活用できるようメールマガジンの配信やweb運営を進めた。

1-b 栄養改善学会

栄養学の進歩と栄養改善に資することを目的に岐阜県栄養改善学会を開催する。演題発表と特別講演を開催し、管理栄養士・栄養士の質の向上、知識を習得により日常の業務改善に役立てる。

- ・第28回岐阜県栄養改善学会（研修事業部）

令和2年2月1日岐阜県図書館にて、第28回岐阜県栄養改善学会を開催し、特別講演「サルコペニアの治療」と題して愛知共和病院内科副院長 谷口正哲氏を招き、最新のサルコペニアについて参加者57名で学んだ。

II. 管理栄養士・栄養士の資質の向上を図る研究会及び研修会に関する事業【定款第4条の第1項第6号】

1. 管理栄養士・栄養士の人材育成に関する事業

事業内容

専門教育機関において基礎知識を習得した管理栄養士・栄養士が、社会での活動において必要な応用力や最新情報を得たり、会員同士の交流によって得られる事例から新たな課題や対応を学ぶ場を提供したりする。流動的な食環境に柔軟に対応できるよう、食と栄養・健康に関する各種研修会及び講習会を提供し、資質の向上に努める指導者の支援を行う。また栄養学の実践と研究を結び付け、科学的根拠をもとに活動が行えるように、栄養改善に関する研究と実践を推進する。

1-a 生涯教育研修会などのセミナー

栄養食生活に関する専門的教育と資質向上を目指し、生涯教育研修会等のセミナーを開催した。会員のニーズに合わせた研修の場を提供し、会員のメリットを高めるとともに、会員同士の交流、情報提供の場とした。

・生涯教育研修会（研修部、各事業部、各支部）

生涯教育で管理栄養士・栄養士の基幹をなす研修事業である。各支部・職域事業部において、さらに特化される知識・技術の習熟のための実務研修・演習を開催した。

期日	時間	単位	参加人数	科目	講師	会場（担当）
5/14 (火)	10:30～ 12:00	基本 1単位	21名	4-12 地域連携「地域ケア会議における栄養士の役割」	(公) 愛知県栄養士会 77行担当 馬場正美氏	岐阜ワークプラザ (77行・公衆衛生)
	13:00～ 14:00	基本 1単位	22名	2-6「食品標示法及び健康増進法に基づく表示」	岐阜県健康福祉部 生活衛生課担当	
	14:00～ 15:00		22名	「食品表示法に基づく栄養成分表示の表示方法について」	(公) 岐阜県栄養士会 成分表示講習会担当	
6/2 (日)	14:00～ 15:30	実務 1単位	81名	食物アレルギーの最新情報 R/G/K/P/T/FS/FG 23-112	岐阜大学アレルギーセンター 川本典生氏	ワークプラザ岐阜 (研修部・岐阜)
6/13 (木)	18:30～ 20:00	実務 1単位	26名	輸液の基礎知識体液と電解質輸液 R45-105 P/T45-107 FS45-108	岐北厚生病院講師	岐北厚生病院
7/13 (土)	13:30～ 15:00	実務 1単位	76名	90-110 がん終末期のQOLを高める 栄養サポート R/G/P/T/FS	愛知医科大学病院 緩和ケアセンター 森 直治氏	岐阜県総合医療センター（医療）
	15:15～ 16:45	実務 1単位	76名	90-110 緩和ケアについて R/G/P/T/FS	岐阜大学医学部附属病院 がん看護専門看護師 苅谷三月氏	
9/7 (土)	14:00～ 15:30	実務 1単位	会員 31名 県民 12名	おいしさのひみつ ～うま味を中心に～ T/FS 46-105	味の素(株)名古屋支社 加古美由紀氏	岐阜県図書館会議室 (地域・勤労者支援)
9/8 (日)	13:00～ 16:00	実務 2単位	14名	身体活動基準の理解と活用～今から始める身体作り～ G/KS/K/T/FS/FG 21-102, 103	パーソナルトレーナー 森山達也氏	あんあん多治見3階 (福祉・東濃・可茂)
9/12 (木)	18:30～ 20:00	実務 1単位	21名	酸・塩基平衡 ～酸・塩基の概念、アシドーシス、アルカローシスとは～	岐北厚生病院講師	岐北厚生病院

				R45-105 P/T45-107 FS45-108		
9/14 (土)	9:30 ~ 11:00	基本 1 単位	6 名	4-4. 栄養診断	DVD 研修	岐阜ワークプラザ (研修部・組織部・ 学校健康教育事業部)
	11:10~ 12:40	基本 1 単位	6 名	4-5 栄養介入	DVD 研修	
	13:00~ 14:30	基本 1 単位	14 名	4-3 栄養アセスメント	DVD 研修	
	14:40~ 16:10	基本 1 単位	11 名	6-1 非常時の食事提供	長屋 紀美江	
10/5 (土)	10:00~ 11:30	実務 1 単位	14 名	口腔機能向上について FS23-118	愛知学院大学歯学部高齢者歯 科学講座 歯科医師 戸田敦子氏	ワークプラザ岐阜 (福祉)
	12:30~ 15:30	実務 1 単位	14 名	介護予防の鍵は口腔健康管理と低 栄養予防 FS23-218	特別養護老人ホームほほえ み福寿の家 歯科衛生士 伊藤ひとみ氏	
10/19 (土)	10:00~ 11:30	実務 1 単位	21 名	世代別の嚥下と嚥下障害への対応 R/P/T/FS/FG 23-118 摂食嚥下のカズム	医療法人三継会 ファイン シニアけやき 施設長 井出 浩希 氏	高山市民文化会館 (飛騨)
10/27 (日)	9:30 ~ 11:00	実務 1 単位		第 35 回岐阜県病院協会医学会 R/G/P/T/FS/SG 90-110	大垣市民病院病院長 金岡祐次氏	ソフトピアジャパンセ ンター大垣市情報工房
11/2 (土)	13:30~ 115:00	実務 1 単位	54 名	リハビリテーション栄養の基礎と 実践~攻めの栄養ケアの適応・限界 ~R/KS/P/T/FS23-107	長崎リハビリテーション病 院栄養管理室 西岡心大氏	ワークプラザ岐阜 (医療)
	15:15~ 16:45	実務 1 単位	54 名	当院の回復期リハビリテーション 病棟で実践しているリハビリテー ション治療の紹介 R/P/T/FS412-101	岩砂病院副院長兼リハビリ テーション科部長 森憲司氏	
11/14 (木)	18:30~ 20:00	実務 1 単位	17 名	栄養輸液の基礎知識 輸液と配合変化 TPN 療法施行時に用いる主な医療 機器 R45-105 P/T45-107 FS45-108	岐北厚生病院講師	岐北厚生病院
2/1 (土)	13:30~ 15:00	実務 1 単位	57 名	岐阜県栄養改善学会 サルコペニアと治療 R/KS/P/T/FS 23 121	愛知共和病院副院長 谷口正哲氏	岐阜県図書館 (研修部)
2/22 (土)	13:00~ 16:15	実務 1 単位	69 名	嚥下調整食分類 2013 の理解と運用 R/KS/P/T/FS/FG23-118	国立病院機構渋川医療セン ター管理栄養士 須永将広氏	岐阜大学医学部附属病 院 (医療)
		基本 1 単位	69 名	4-10 カルテ記録のスキルアップ		

・管理栄養士国家試験受験準備支援 (企画総務部)

管理栄養士国家試験受験準備のための情報提供をした。

1-b 専門指導者育成研修

・在宅訪問栄養指導専門相談員育成 (栄養ケア・ステーション事業部)

在宅訪問栄養指導専門相談員のスキルアップを目的に養成・育成を継続し医療機関で実地研修を開催した。

・介護予防指導者育成 (栄養ケア・ステーション事業部)

介護予防指導者を育成するため、摂食・嚥下機能や認知症、低栄養予防、褥瘡、サルコペニア等を理解し、高齢者一人ひとりに適した栄養素指導を実践できる人材を育成した。

・ぎふD-DATスタッフ研修（企画総務部・組織部）

災害時における支援活動、災害支援対策の強化のため、(公社)日本栄養士会が示すぎふD-DATスタッフ養成研修会を開催し、災害支援に必要なスキルを習得し、緊急時にJDA-DATリーダーをアシストできる人材を育成した。

1-c その他専門栄養士育成

全国リーダー研修会・東海北陸ブロック研修会に参加することにより、都道府県管理栄養士・栄養士と連携を図り、各事業部の目標達成に向けた指導者の育成に努めた。

1-d 就職前セミナー

管理栄養士・栄養士として就職を希望する学生に向けて岐阜県栄養士会の活動内容を説明し、職域ごとにブースを設け学生との直接対話を通し、栄養士業務に関する相談を受ける。

・就職前セミナー（組織部）

大学生への就職前セミナーをワークプラザ岐阜にて開催した。参加者35名。

法人 法人運営に関する事業

事業概要

本会は公益事業を実施する団体であり、法人運営の基本は、本会が公益目的事業の旺盛な展開をとおして本会の公益の目的を達成する基盤として、透明で機動的な意思決定と責任ある執行、健全な財務運営を確保することにある。そのための適切な法人運営を心がける。

I. 会務運営に関する取り組み

定時総会、理事会などを定期的に開催し、事業の充実を図る。各種事業の企画、本会の政策立案能力の向上のための事業部の整備、諮問会議・地区栄養士会長会議・各種委員会などの充実した体制の整備と運営を行う。

1-a 定時総会、理事会、執行部会、支部長会議、東海北陸会長会議の適切な運営

別頁 会務の執行報告参照

1-b (公社)日本栄養士会関連会議等、法人運営に関連した取り組み

II. 会員に関する取り組み

会員活動の活性化に向けた支援活動や業務支援システム（生涯教育受講管理への対応を含む）の円滑な運用、保守管理、会員外である就業栄養士の発掘、支援、個々人の学習記録の管理などを行う。

1-a 会員増及び定着化

1-b ホームページによる情報提供

III. その他必要な取り組み

その他流動する情勢に的確に対応して、法人運営上必要な取り組みなどを実施する。

1-a 事務局体制の強化

1-b (公社)日本栄養士会との業務支援システム等における連携強化

決算報告書

自 平成31年 4月 1日
至 令和 2年 3月31日

公益社団法人 岐阜県栄養士会
岐阜県岐阜市下奈良2-2-1

貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,884,266	2,233,688	-349,422
未収入金	66,000	312,880	-246,880
仮払金	0	41,509	-41,509
流動資産合計	1,950,266	2,588,077	-637,811
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産	6,445,777	6,445,893	-116
基本財産合計	6,445,777	6,445,893	-116
(2) 特定資産			
特定資産	5,096,809	5,096,300	509
特定資産合計	5,096,809	5,096,300	509
(3) その他固定資産			
建物附属設備	384,480		384,480
什器備品	154,669	9	154,660
電話加入権	72,500	72,500	0
保証金	0	144,180	-144,180
その他固定資産合計	611,649	216,689	394,960
固定資産合計	12,154,235	11,758,882	395,353
資産合計	14,104,501	14,346,959	-242,458
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		0	0
前受会費	73,000	83,000	-10,000
本部預り金	6,500	0	6,500
その他預り金	757,279	794,935	-37,656
流動負債合計	836,779	877,935	-41,156
負債合計	836,779	877,935	-41,156
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	13,267,722	13,469,024	-201,302
(うち特定資産への充当額)	6,445,777	6,445,893	-116
(うち特定資産への充当額)	5,096,809	5,096,300	509
正味財産合計	13,267,722	13,469,024	-201,302
負債及び正味財産合計	14,104,501	14,346,959	-242,458

正味財産増減計算書

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	7,018,500	7,139,500	-121,000
受取入会金	66,000	67,000	-1,000
正会員受取会費	5,662,500	5,782,500	-120,000
賛助会員受取会費	1,290,000	1,290,000	0
事業収益	9,502,704	13,980,348	-4,477,644
受託事業収益	9,246,704	9,214,348	32,356
日本栄養士会	21,739	0	21,739
シニア・カウラム調理補助事業	490,160	0	490,160
調理師試験予備講習会講師紹介	262,065	260,236	1,829
栄養ケア・ステーション事業	2,056,776	3,044,340	-987,564
幼児食農教育	103,400	0	103,400
農政・食農教育	0	104,760	-104,760
シニア高齢者活躍事業	0	1,214,460	-1,214,460
地域栄養管理確保促進事業	0	3,500,000	-3,500,000
子ども食堂	823,000	820,000	3,000
食品表示法に基	323,310	239,552	83,758
食を通じたフレ	791,997	0	791,997
介護予防派遣事業	20,257	31,000	-10,743
野菜たっぷりメニュー事業	436,000	0	436,000
地域高齢者フレ事業	3,918,000	0	3,918,000
補助事業収益	250,000	4,750,000	-4,500,000
在宅療養事業	0	4,500,000	-4,500,000
介護予防指導事	250,000	250,000	0
栄養ケア・ステ登録料収益	6,000	16,000	-10,000
研修費収益	782,227	1,380,287	-598,060
生涯教育研修会	782,227	1,380,287	-598,060
雑収益	98,607	144,828	-46,221
手数料等収益	94,591	144,465	-49,874
受取利息	4,016	363	3,653
経常収益計	17,402,038	22,644,963	-5,242,925
(2) 経常費用			
事業費	11,770,538	19,358,487	-7,587,949
給与手当	3,375,704	6,319,545	-2,943,841
福利厚生費	228,532	598,152	-369,620
旅費交通費	871,226	1,135,359	-264,133
通信運搬費	982,599	1,205,266	-222,667
消耗品費	990,479	1,046,138	-55,659
使用料・賃借料	1,305,740	3,456,605	-2,150,865
諸謝金	3,396,314	3,709,634	-313,320
支払手数料	8,330	14,417	-6,087
水道光熱費	0	9,100	-9,100
会議費	9,743	45,799	-36,056
印刷製本費	514,471	1,390,500	-876,029
研修費	0	30,000	-30,000
保険料	54,400	0	54,400
保守料	0	353,756	-353,756
諸会費	33,000	43,216	-10,216
租税公課	0	1,000	-1,000
管理費	5,832,802	4,019,901	1,812,901
総会費	242,159	319,489	-77,330
役員会費	0	31,580	-31,580
会議費	144,160	178,670	-34,510
旅費交通費	47,128	18,710	28,418
給与手当	2,731,842	1,912,394	819,448
顧問料	343,960	414,720	-70,760
通信運搬費	513,542	247,473	266,069
福利厚生費	731,972	315,002	416,970
消耗品費	212,161	66,824	145,337
水道光熱費	0	44,884	-44,884
支払手数料	36,955	29,461	7,494
賃借料	464,758	313,326	151,432
租税公課	16,505	96,264	-79,759
雑費	200,340	0	200,340
諸会費	13,400	0	13,400
修繕費	54,000	0	54,000
保守料	79,920	31,104	48,816
経常費用計	17,603,340	23,378,388	-5,775,048
評価損益等調整前当期経常増減額	-201,302	-733,425	532,123
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-201,302	-733,425	532,123
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度修正益	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	128,512
当期一般正味財産増減額	-201,302	-733,425	532,123
一般正味財産期首残高	13,469,024	14,202,449	-733,425
一般正味財産期末残高	13,267,722	13,469,024	-201,302
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	13,267,722	13,469,024	-201,302

正味財産増減計算書内訳表

平成31年 4月 1日から令和 2年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的会計			法人会計	合 計
	公1	公2	小 計		
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費	3,158,325	350,925	3,509,250	3,509,250	7,018,500
受取入会金	29,700	3,300	33,000	33,000	66,000
正会員受取会費	2,548,125	283,125	2,831,250	2,831,250	5,662,500
賛助会員受取会費	580,500	64,500	645,000	645,000	1,290,000
事業収益	9,252,704	1,032,227	10,284,931	0	10,284,931
受託事業収益	9,246,704	0	9,246,704	0	9,246,704
日本栄養士会	21,739	0	21,739	0	21,739
シニアケアのり調理解補助事業	490,160	0	490,160	0	490,160
調理師試験予備講習会講師紹介	262,065	0	262,065	0	262,065
栄養ケア・ステーション事業	2,056,776	0	2,056,776	0	2,056,776
幼児食農教育	103,400	0	103,400	0	103,400
子ども食堂	823,000	0	823,000	0	823,000
食品表示法に基	323,310	0	323,310	0	323,310
食を通じたフレ	791,997	0	791,997	0	791,997
介護予防派遣事	20,257	0	20,257	0	20,257
野菜たっぷりメニュー事業	436,000	0	436,000	0	436,000
地域高齢者フレ事業	3,918,000	0	3,918,000	0	3,918,000
補助事業収益	0	250,000	250,000	0	250,000
介護予防指導事	0	250,000	250,000	0	250,000
栄養ケア・ステ登録料収益	6,000	0	6,000	0	6,000
研修費収益	0	782,227	782,227	0	782,227
生涯教育研修会	0	782,227	782,227	0	782,227
雑収益	0	0	0	98,607	98,607
手数料等収益	0	0	0	94,591	94,591
受取利息	0	0	0	4,016	4,016
経常収益計	12,411,029	1,383,152	13,794,181	3,607,857	17,402,038
(2) 経常費用					
事業費	12,439,973	1,850,411	14,290,384	0	14,290,384
給与手当	4,198,055	613,240	4,811,295	0	4,811,295
福利厚生費	572,138	65,173	637,311	0	637,311
旅費交通費	783,971	116,234	900,205	0	900,205
通信運搬費	1,116,539	130,007	1,246,546	0	1,246,546
消耗品費	1,022,554	112,425	1,134,979	0	1,134,979
使用料・賃借料	1,223,434	290,186	1,513,620	0	1,513,620
諸謝金	3,007,327	388,987	3,396,314	0	3,396,314
支払手数料	7,353	977	8,330	0	8,330
会議費	26,348	3,349	29,697	0	29,697
印刷製本費	393,911	120,560	514,471	0	514,471
保険料	49,708	4,692	54,400	0	54,400
諸会費	38,635	4,581	43,216	0	43,216
管理費	0	0	0	3,312,956	3,312,956
総会費	0	0	0	242,159	242,159
会議費	0	0	0	124,206	124,206
旅費交通費	0	0	0	18,149	18,149
給与手当	0	0	0	1,296,251	1,296,251
顧問料	0	0	0	343,960	343,960
通信運搬費	0	0	0	249,595	249,595
福利厚生費	0	0	0	323,193	323,193
消耗品費	0	0	0	67,661	67,661
支払手数料	0	0	0	36,955	36,955
賃借料	0	0	0	256,878	256,878
租税公課	0	0	0	16,505	16,505
雑費	0	0	0	200,340	200,340
諸会費	0	0	0	3,184	3,184
修繕費	0	0	0	54,000	54,000
保守料	0	0	0	79,920	79,920
経常費用計	12,439,973	1,850,411	14,290,384	3,312,956	17,603,340
評価損益等調整前当期経常増減額	-28,944	-467,259	-496,203	294,901	-201,302
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	-28,944	-467,259	-496,203	294,901	-201,302
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
過年度修正益					0
経常外費用計					0
当期経常外増減額					0
当期一般正味財産増減額	-28,944	-467,259	-496,203	294,901	-201,302
一般正味財産期首残高					13,469,024
一般正味財産期末残高					13,267,722
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					0
指定正味財産期首残高					0
指定正味財産期末残高					0
III 正味財産期末残高					13,267,722

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在していない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

建物附属設備及び車輛運搬具は定額法、什器備品は定率法によっている。

② 無形固定資産

ソフトウェアは定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

3. 貸借対照表に関する注記

(1) 保証債務

保証債務なし

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位：円)

資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価格
基本財産				
普通預金	2,443,691		516	2,443,175
定期預金	4,002,202	400		4,002,602
小計	6,445,893	400	516	6,445,777
特定資産				
(定)財政調整基金	5,096,300	509		5,096,809
小計	5,096,300	509	0	5,096,809
合計	11,542,193	909	516	11,542,586

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
普通預金	2,443,175		(2,443,175)	
定期預金	4,002,602		(4,002,602)	
小計	6,445,777	0	(6,445,777)	0
特定資産				
(定)財政調整基金	5,096,809		(5,096,809)	
小計	5,096,809	0	(5,096,809)	0
合計	11,542,586	0	(11,542,586)	0

6. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高

	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	384,480	0	384,480
什器備品	2,171,354	2,016,685	154,669

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細については、「財務諸表に対する注記」に記載しているので、内容の記載を省略している。

財産目録

令和 2年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	手元保管 普通預金 普通預金十六銀行今 沢町支店 (0323602 普通預金ゆうちょ銀 行	運転資金として。	3,722
			運転資金として。	1,880,544
			運転資金として。	582,298
	未収入金		公益事業の未収金・手数料。	1,298,246
流動資産合計				66,000
				1,950,266
(固定資産)	基本財産	定期預金大垣共立 銀行県庁支店 (一 般) 普通預金大垣共立 銀行県庁支店 (一 般)	公益目的保有財産である。	6,445,777
			公益目的事業に果実を充当。	4,002,602
	特定資産	定期預金岐阜信用 金庫六条支店 (一 般)	記念事業の資産である。	2,443,175
				5,096,809
	その他固定資産	建物附属設備 什器備品 電話加入権		5,096,809
				384,480
			154,669	
固定資産合計				72,500
資産合計				12,154,235
				14,104,501
(流動負債)	前受会費 本部預り金 その他預り金		会費前受金	73,000
				6,500
				757,279
流動負債合計				836,779
負債合計				836,779
正味財産				13,267,722